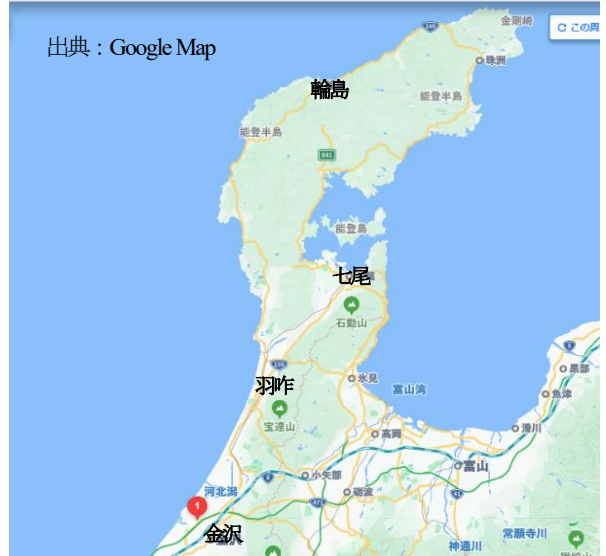


カリタスジャパン 能登地震災害緊急支援募金 ご報告 2025年2月

日頃から、カリタスジャパンの活動にご理解、ご協力をいただき、またともに歩んでくださり感謝申し上げます。

発災から1年と2ヶ月が経過した能登では、仮設住宅に移って初めての冬を迎えています。仮設住宅として使われる家のタイプはそれぞれで、いかにもプレハブそのままというものもあれば、コンテナハウスや普通の住宅のようなものもあります。カリタスのとサポートセンターは必要な物資支援から、新しい環境におけるコミュニティー作りのためのカフェ活動、孤立して生活に困っている集落支援など、その時々に必要な活動を継続しています。

また、これまで週末を中心に行われていたボランティア活動でしたが、平日にも参加いただけるようになりました。ぜひ、多くの皆様に参加いただけたらと思います。詳しくは以下をご覧ください。



<https://notosen.blogspot.com/2025/01/4.html>



カリタスジャパン担当司教 成井大介

■ 能登半島地震災害緊急支援募金 (11月～1月)

期間	募金額 (円)	募金件数
11月1日～30日	5,484,823	90
12月1日～31日	13,454,849	152
1月1日～31日	3,958,713	73
計	22,898,385	315

2024年11-2025年1月募金・援助

募金額	22,898,385 円 (315 件)
援助額	1,226,000 円 (2 件)

■ 援助額 (11月～1月)

援助先	活動	援助額 (円)
カリタス東京	カリタスのとサポートセンターへの協力事業としての季節ごとのイベント開催事業 (七尾市) ① 聖母幼稚園前で毎週日曜日に「じんのびカフェ」開催 ② 民間災害ボランティアセンター「おらっちゃ七尾」に登録してボランティア活動 (現在は家財類の搬出や引っ越し手伝いが中心) ③ 能登島の向田仮設住宅団地でのサロン活動 (月1回程度) ④ ついたちの祈り・ついとこの祈り (毎月1日) (輪島市) ① 緊急支援として行っている水と救急物資提供活動 ② 輪島市で複数団体が連携して行っている重蔵神社の物資支援活動に協力 ③ 二勢団地でのサロン活動 (月1回程度)	1,056,000
ART Along	臨床美術「みんなアーティスト」ワークショップ 臨床美術のアートプログラムによる作品制作を行う。 事業期間：2025年3月～5月ごろの1日を予定	170,000
合計		1,226,000

■ 活動写真 (写真はすべて©カリタスジャパン)

冬支度 むしろ 支援



能登半島では、冬場は一日のうちに、雨、みぞれ、雪が降り、それが夜中に凍って非常に転倒し易くなります。そこで転倒防止のためにむしろを敷くことが、応急仮設住宅でも求められましたが、行政の対応だけでは数が不足していました。そこでカリタスのとサポートセンターの支援により、地元団体、社協、自治会、行政のネットワーク組織である「おらっちゃん七尾」が連携し、むしろ敷きを一齐に行いました。また、公費解体に伴う搬送作業にもボランティアを派遣しています。

物資支援 戸別訪問



カリタスのとサポートセンターでは、輪島市社会福祉協議会からの委託を受けて、輪島市空熊町（そらくままち）の山奥で孤立している、独居高齢世帯に重蔵神社に集まる支援物資を運ぶとともにお話を伺ったりしています。このお宅には週1回、魚の訪問販売がある以外は、カリタスのとサポートセンターで運ぶ支援物資だけが頼みの綱です。支援物資を運ぶとともにお話を聞かせていただいたり、学生ボランティアを繋いで地震や豪雨で散乱した部屋の片付けなどをお手伝いしたりしています。ようやく応急仮設住宅が抽選であたり、これから引っ越しだそうです。こうした引っ越しにも対応しています。



軽トラダンプ泥出し支援



公費解体のための家財搬出と豪雨の泥出しの要望が同時並行してある中、カリタスジャパンは軽トラダンプの支援をしました。凄まじいまでの豪雨で、夫婦で経営していた旅館も泥で埋もれ、配偶者を亡くしてずっと沈んでいた高齢の女性は、カリタス支援の軽トラダンプで泥をどんどん運び出す様子を見て、気を取り直し、食堂の再開に希望を持っています。

郵便局の専用払込用紙（送金手数料カリタスジャパン負担）をご希望のかたは、電話(03-5632-4439) あるいはメール (info@caritas.jp) にて事務局までご連絡ください。



引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。